

野地プログラム ワークショップ

産業化に向けたバイオフィルム研究とクオラムクエンチング酵素工学

日時：2016年10月11日（火）13:00～17:40

会場：TKP市ヶ谷カンファレンスホール9階（9C室）

プログラム

※時刻は若干の変更可能性あり

13:00～13:15 挨拶・ImPACTプログラム紹介 野地 博行（ImPACTプログラム・マネージャー/東京大学）

13:15～14:15 基調講演「集団微生物の理解から制御へ」 野村 暢彦（筑波大学）

第一部：バイオフィルムの理解と産業応用

（座長：野村 暢彦）

14:15～14:45 「企業におけるバイオフィルム研究」 久保田 浩美（花王株式会社）

14:45～15:15 「水処理再生技術とバイオフィルム」 稲葉 知大（産業技術総合研究所）

15:15～15:40 休憩

第二部：クオラムクエンチング酵素と進化分子工学の応用

（座長：徳力 伸彦）

15:40～16:10 「アシル化ホモセリンラクトン（AHL）分解遺伝子の多様性」 諸星 知広（宇都宮大学）

16:10～16:40 「Quorum Quenching Enzymes: Towards a Specific Control of Complex Microbial Communities?」
Mikael Elias（Univ. of Minnesota）

ImPACT 野地プログラム研究課題

16:40～17:10 「Quorum quenching enzyme の探索と改変」 徳力 伸彦（The Univ. of British Columbia）

17:10～17:40 「進化分子工学に向けた超並列型マイクロ・リアクター・アレイ・スクリーニング・システムの開発」
張 翼（東京大学）

18:00～ 意見交換会：TKP市ヶ谷カンファレンスホール8階（バンケットB）

[参加申し込み]

ImPACTプログラムホームページ (<http://impact.jst.go.jp/sympo/biofilm>) に掲載している参加申込フォームに必要事項を記入の上、送信してください（申込〆切：10月4日（火）正午）。

[お問い合わせ先]

国立研究開発法人科学技術振興機構 革新的研究開発推進室 野地プログラム担当

TEL: 03-6272-8970

E-mail: impact-nj@jst.go.jp